キャリア教育　5年生　大学訪問（6月17日）

５年生72名と保護者で新潟大学を訪問しました。そこで授業の様子を見学したり大学生と交流したりすることを通して，大学の雰囲気を肌で感じ取ってきました。大学に対しての関心を高め，将来に対する憧れや学ぶ目的について考えを深めました。

大学生から実験の説明をしてもらいました

訪問する学部は農学部・工学部・教育学部・理学部・災害復興科学センター・ベンチャービジネスラボラトリーです。どの学部でも，教授やそこで学ぶ学生さんが親切に優しく案内してくれました。

ベンチャービジネスラボラトリーでは自分の顔を作る実験などをしました。

教育学部の大講堂で学長さんや学部長さんのお話を聞いた後に，それぞれのコースごとに分かれました。

学部内の様々な施設に案内してもらったり，液状化等の実験を体験させてもらったりしてきました。

教育学部の大講堂でお話

農学部で植物の種を顕微鏡で覗かせてもらいました

【保護者の感想】

見学で眼を輝かせていた子どもたちの将来を思い，親も楽しませてもらいました。

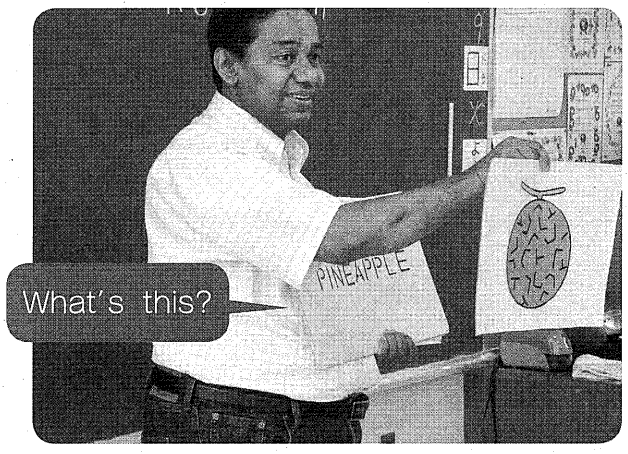
【子どもの声】

キャンパスの中は一つの世界のようだった。人の役に立つことを研究していることがわかった。ぼくも大学で勉強してみたいな。

英語活動

学年の段階に応じて，英語そのものを学ぶ英語活動から，獲得してきた言語材料を，場面に応じて活用していくような活動へと発展させていきます。

年間25時間の英語活動のうち，14時間を学級担任とALTが，協力しながら進めています。

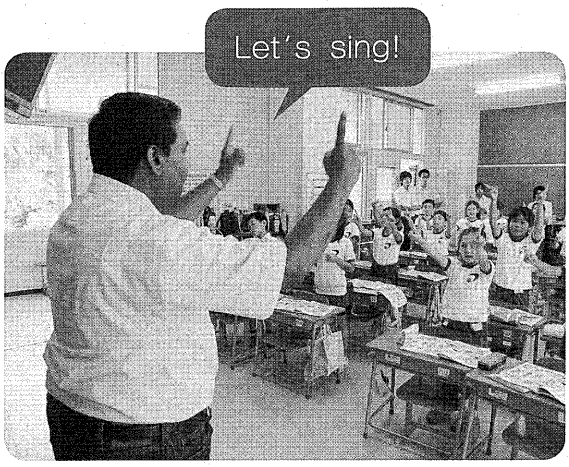


②フラッシュカードによる新出単語練習

③Main lesson（ダイアローグ練習）

ダイアローグ練習では，ALTの発音に合わせてリピートすることから始まり，子ども同士の会話練習まで，スモールステップで学んでいきます。

１時間の授業は，発音や会話の練習が中心ですが，ワークブックを使って学習することもあります。



①Warming up（歌，前の時間の復習）

小学校英語活動では，コミュニケーション能力の素地を養うために，音声言語能力（聞く，話す能力）の育成を小中連携の柱としています。

低・中学年では，身の回りのものを英 語で表したり，自分の意志を伝えたりしようとする力。高学年では，相手のことを聞き出したり，自分のことをより詳しく伝えたりしようとしたりする力を育てます。

④Activity（ダイアローグを使ったゲーム）

授業の後半にやる英語を使ったゲームはとても楽しいです。ALTの先生にほめてもらうと自信がつきます。

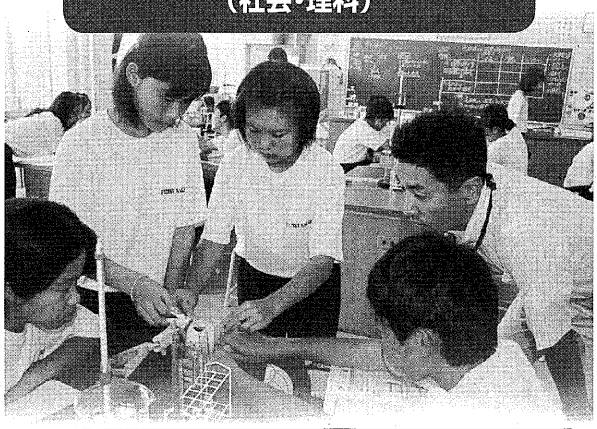
幼小中の連携

附属長岡校園では，同じ敷地内に幼稚園・小学校・中学校が隣接しているという利点を生かして，子ども同士，教師同士が授業や行事，研究を通して連携しています。12年間の教育を見通し，子どもがスムーズに学校間を移行でき，段階的に学力を高められるようにしています。

大運動会
（9月7日・10日）

9月に幼稚園・小学校・中学校合同の大運動会を行いました。今年は途中で大雨が降り，後日続きを行うというハプニングがありましたが，幼・小・中が協力して，応援合戦や大玉送りなどの競技を楽しみました。最大12歳の年齢差のある子どもたちが，教え合い助け合う中で，思いやりや責任感をはぐくんでいきます。

小・中学校 授業交流
（社会・理科）



小学校からは理科の先生が，中学校からは社会の先生が交流して，授業を行っています。小学生が中学校に進学した際のスムーズな移行をねらっています。

幼稚園との連携
「昼休みの交流」

昼休みに，幼稚園の子どもたちが小学校の中庭やヤッホー広場に遊びにくる活動を，年間を見通して計画的に行っています。幼稚園児は，小学校の生活に親しんでおくことで，入学時，小学校にスムーズになじんでいきます。